

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 高等部

『相手にわかりやすい方向や位置の説明の仕方を考えて、地図を見て目的地までの道案内をしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・高等部1年 男子生徒
 - ・話をするとき、「えっと」「あれ」などのことばをはさみながら、文を続けて話す。
 - ・説明文を読んだり、図を見たりして、指示通りに作業する。
 - ・地図を見て進行方向を説明するとき、地図を見たままの方向で左(右)を伝えたり、「●●の後ろ」と言ったりする。
- そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→目的地まで歩く場面を想像して、進行方向に合わせて左右や前後を判断し、相手にわかりやすい方向や位置の伝え方で道順を説明してほしい。

2. 教材の概要『説明しまSHOW!!』

- ①地図(イラスト)を見て、現在地から目的地までの道順を、進行方向から左右を判断したり、目印になる建物などの情報(色、○から△番目、位置関係など)を入れたりして、相手に伝わるように説明する。
- ②説明を聞いた生徒が目的地までたどり着ければ、正確に説明できたこととする。

3. 授業のポイント

ポイント1 状況を想像し、判断するための教具の工夫

【目的地まで歩く場面を想像して進行方向に合わせて左右を判断するには、どうすればよいか？】

- ・[GPSくん]に地図の道をたどらせながら、説明をする(聞く)ことで、現在地や進行方向を確認できる視覚支援ツール。すぐろくのコマのような半立体で、立てられる。
- ・[GPSくん]を使い、地図上では進行方向によって左右が変わることを視覚的に確かめられるようにした。
- ・左右を表示したもの、次に左右表示のないものと、段階的に手がかりを減らすようにした。



授業構想チェックシート 内容チェック5. 学習環境:教具について①②③⑤

意欲チェック2. 題材計画について⑥⑧⑩ 5. 学習環境:教具について⑧⑨

ポイント2 友だちと学び合うための評価の工夫

【自分の説明が相手にわかりやすく伝わったかを評価するためには、どうすればよいか？】

[アドバイスシート]…終末で使用。友だちの説明の評価と、気づいた改善点を伝えるもの。

[学習の自己評価]…アドバイスシートと合わせて終末で使用。当日の学習目標の到達状況を自己評価する。

- ・友だちと交換することで、自分の説明が相手に伝わったかどうかを確かめる。

◇わかりやすかった説明

進む方向	目印になる物の特徴
	○

◇その他のアドバイス

方向をまちまちとわかりず

・説明をしたときの友だちの反応や教師からのアドバイスをもとに、自己評価を記入する。写真のように具体的に改善点を記入して、次時に活かすことがねらいであったが、対象生徒は、改善点に「いっぱい」と書いた。

主体的な学びにつながるように、個に応じた自己評価の仕方を検討し、改善する。

学習の自己評価 あてはまるものに○印をつけましょう

◆説明について	
1. 相手に正確に伝わった]
2. 足りない情報があった【何のあうたんぼどう]
3. わかりにくい表現があった【何個目]
◆話し方について	
1. ていねいなことばづかいで話せた	
2. 聞こえる声の大ききで話せた	
3. わかりやすいスピードで話せた	

授業構想チェックシート 内容チェック6. 学習活動について④

意欲チェック6. 学習活動について⑬⑭⑮